

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月 8日 更新

事務事業名		合志市レジ袋削減推進協議会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	総務部	課長名 財津 公正
	施策	7	地球温暖化防止対策の推進			所属課	環境衛生課	担当者名 小畑 英之
	基本事業	19	地球温暖化防止活動の促進			所属班	環境衛生班	(内線) 1142
予算科目		会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11541	法令根拠	合志市レジ袋削減推進協議会設置要綱
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	
							成果優先度評価結果 : ①	コスト削減優先度評価結果 : ②

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	地球温暖化の防止と循環型社会の形成に向け、レジ袋の削減のために市民団体・事業者・行政等が相互理解と連携を図り、合志市におけるレジ袋の削減に向けた取組みを支援する。レジ袋削減推進協議会では、具体的な取り組みの内容や事業所との協定等について協議を行った。
【業務の流れ】	協議会で、合志市のレジ袋削減に向けた取組内容を決定し、市民への啓発、周知を徹底して行い、平成23年6月1日スタートした。事務局として協議会で決定した取組内容についても積極的に情報公開等のサポートを行う。
【主な予算費目】	報酬、時間外勤務手当、費用弁償、役務費(切手代)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	市内全事業所に対し、協力を呼びかけているが、有料化に踏み切れない事業所が殆どで、のぼり旗やポスターの掲示やお客さんへの声掛けは協力するが、事業所側の営業方針とお客さん離れを危惧する心情も理解して欲しいとの意見も出ている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
本年は2回の協議会を開催し、レジ袋の有料化(削減)に向けた取り組みの状況、意見を聞いた。本年度も合志市内3事業所と有料化の協定を締結し、計7事業所となった。その他の事業所については、のぼり旗やポスターの掲示と併せ、お客さんへの声掛けを行ってもらうよう協力依頼をしている。	レジ袋削減推進協議会は、平成24年度中に解散廃止しました。レジ袋削減に向けた啓発活動は、行政が引き続き実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	予算の主な増減の理由
→ ア: 協議会の開催回数	レジ袋削減推進協議会解散廃止による報酬・費用弁償の減
イ: 広報・啓発の回数	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
協議会委員、事業所、市民	→ ア: 世帯数
	イ: 事業所数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
レジ袋削減推進に伴うCO2発生量の抑制とごみ減量化に即した生活や事業活動が出来る。マイバック持参率の目標は80%を最低基準とする	→ ア: マイバック持参率
	イ: レジ袋無料配布中止を行った事業所
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
市民が身近に取組むことができるレジ袋削減及びマイバック持参事業を展開することで、地球温暖化に係る温室効果ガスの排出量削減やごみ排出量の抑制等、市民や事業所の意識の高揚が図れ、成果の向上が望める。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	22年度	23年度	24年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 回	3	3	2	2	0	0	0	0
	イ 回	4	4	2	2	2	2	2	2
② 対象指標	ア 世帯	20,500	21,104	20,800	21,472	21,500	21,700	21,800	21,900
	イ 件	120	96	96	96	96	96	96	96
③ 成果指標	ア %	0	82.6	80	82	80	80	80	80
	イ 件	0	4	5	7	7	7	7	7
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円				1	1	1
		繰入金	千円						
	一般財源	一般財源	千円	1,496	181	111	157	157	157
		(A) 事業費計	千円	0	1,496	181	111	158	158
		(A)のうち指定経費	千円	0	131	112	67	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	12	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	2,200	3,020	2,156	814	403	403
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,200	4,516	2,337	925	561	561	561	

事務事業名	合志市レジ袋削減推進協議会運営事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 熊本市、水俣市、上天草市に次いで、平成23年6月から有料化に向けた取り組みをスタートさせることが出来た。平成24年度は、新たに3事業所がレジ袋の有料化に取り組み計7事業所となった。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 既に取り組みをスタートさせたので、全事業所に対して周知啓発を更に強化し、有料化に取り組む事業所を増やすとともに市民へも情報の公開等を通じて認識の高揚に努める。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 広報紙・ホームページでの周知啓発を徹底し、近隣市町村も同じ取り組みを実施することとなっているので、市民の認識も図れることから成果の向上が見込める	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地球温暖化防止と循環型社会の構築に向けては、類似事業はあるが、レジ袋削減に向けた取り組みは単独事業として推進して行く	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 平成24年度は8月は協議会を解散したため平成25年度からは委員報酬、費用弁償等は抑えられる。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 平成24年度は8月は協議会を解散したため平成25年度からは委員報酬、費用弁償等は削減。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 全事業所、全市民が対象であるので公平公正である	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 地球温暖化防止及びごみ減量は行政が取り組む課題であるので適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成24年度は、協議会の開催は2回で8月に解散。引き続き市が市民への周知・広報活動を行い、有料化に取り組んだ事業所が4事業所から7事業所に増えた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						